

人間発達学専攻臨床心理学コースの概要と特色

本専攻の臨床心理学コースは、臨床心理的研究能力と心理臨床的実践力を備えた臨床心理士、およびその専門性をもつ公認心理師を養成するコースである。教育目標は、教育、保健、医療、福祉などさまざまな専門職と共同体制を組んで実践活動、研究活動、専門活動のできるスクールカウンセラー、産業カウンセラー、保健・医療領域での心理専門職、司法領域での調査官や矯正心理専門職、開業心理臨床家等の人材を養成することにある。

1. 臨床心理学コースのディプロマ・ポリシー

本専攻の臨床心理学コースに2年以上在学し、所定の授業科目について36単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格すれば、修士（学術）の学位が授与される。

- (1) 人間の心理的・社会的・身体的側面について、高度で専門的な知識と研究能力、技能あるいは技法を習得し、人間を多角的にとらえることができる。
- (2) 人間に対する共感的・客観的理解に基づき、人々を臨床心理学的に支援する実践力を身に付けている。
- (3) 教育、保健、医療、福祉、産業、司法など、様々な専門職と協働体制を組んで、倫理的配慮をもって専門的実践活動、研究活動ができる。

2. 臨床心理学コースのカリキュラム・ポリシー

本コースは臨床心理論、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野、心理支援分野、専門関連科目の7研究分野に授業科目を配している。臨床心理論の26単位は必修で、また、研究法分野、基礎分野、社会分野、精神・身体分野、心理支援分野の5分野は選択必修で、それぞれの研究分野から2単位を選択し、10単位以上を修得することになっている。なお、臨床心理論及び心理支援分野の科目は、本コースに所属する学生のみを対象とするものである。

このことによって、専門活動に関する科目、実践活動に関する科目、研究活動に関する科目をバランスよく履修できるようになっている。

3. 臨床心理学コースのアドミッション・ポリシー

本コースでは、臨床心理論にかかわる専門的な知識と研究能力を持つとともに、多様な研究課題に取り組む研究態度を持った学生を求める。本コースを志願する者は、学部において心理学に関する科目についての履修をしていることが望まれる。

なお、本コースでは、修了後に公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する「臨床心理士」の受験資格を取得することができる。本コースは、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から2005年5月に第1種大学院の指定を受け、2006年4月に入学した院生から適用されている。

また、所定の要件を満たし、必要な科目を履修することによって、公認心理師の受験資格を取得することができるカリキュラムを整備している。